

障害者職業カウンセラー職（新卒等）採用試験における  
各種試験の詳細および専門試験等について  
2027年4月採用春季募集実施分

独立行政法人高齢・障害・求職者雇用支援機構

## ■目次

1. 障害者職業カウンセラー職（新卒等）採用試験の概要・・・P. 3
2. 小論文試験問題・・・P. 3～5
3. 専門試験問題・・・P. 6～25
  - 専門試験 注意事項・・・P. 7
  - 心理学に関する問題①～③・・・P. 8～10
  - 教育学に関する問題①～③・・・P. 11～13
  - 社会学に関する問題①～③・・・P. 14～16
  - 社会福祉学に関する問題①～③・・・P. 17～19
  - 法学に関する問題①～③・・・P. 20～22
  - 経済学・経営学に関する問題①～③・・・P. 23～25
4. 少人数面接試験問題・・・P. 26

## 1. 障害者職業カウンセラー職（新卒等） 採用試験の概要

|       |                          |         |
|-------|--------------------------|---------|
| 第一次試験 | 基礎能力試験（TG-Web：言語、数理、論理等） | オンライン形式 |
|       | 小論文試験（60分）               | 集合形式    |
|       | 専門試験（100分）               |         |
| 第二次試験 | 個別面接試験                   | オンライン形式 |
| 第三次試験 | 少人数面接試験                  | 対面形式    |
|       | 個別面接試験                   |         |

## 2. 小論文試験

主に、障害者の就労支援に関する現状や課題に対する事業主（企業）への支援について出題。出題されたテーマに対する、自身の考えを800字以内で論じる。

### （出題内容）

厚生労働省「令和7年障害者雇用状況の集計結果」によれば、令和7年6月1日時点の障害者の雇用者数は70万4,610人と過去最高を更新しています（資料1）。

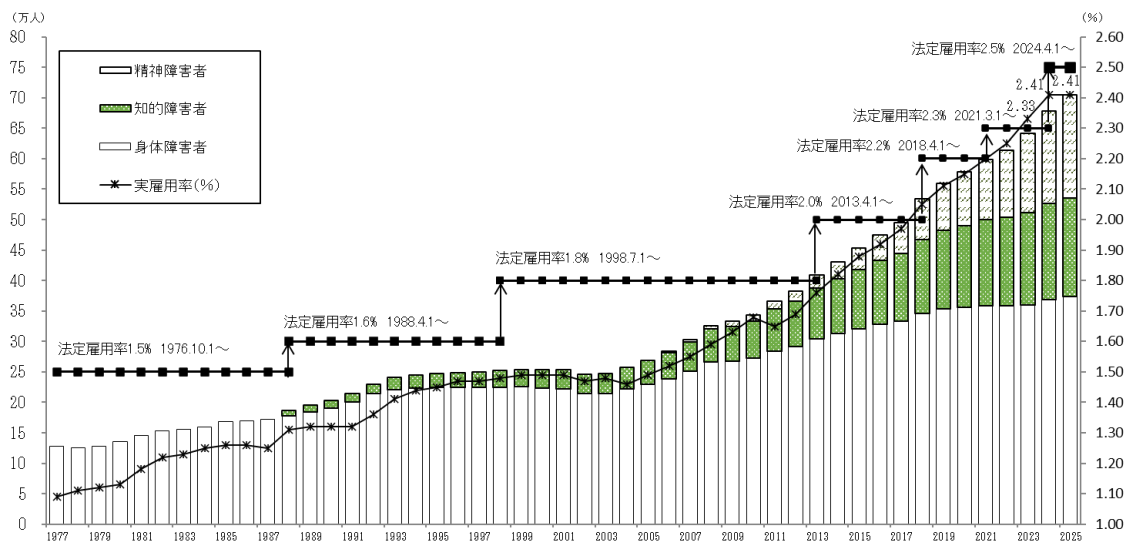
加えて、民間企業の法定雇用率（企業が雇用すべき障害者の割合）は現在2.5%であり、令和8年7月より2.7%に引き上げられることが予定されていることから、今後、企業の障害者雇用の取組について一層の対応が求められると見込まれます。

障害者の雇用者数は堅調に増加している一方、就職してから1年経過後の定着率は資料2に示すとおりであり、一般の新規学卒者（大学卒）の定着率と比較すると、低い水準となっています。こうした状況を踏まえ、近年の障害者雇用施策においては、職場環境の整備や雇用管理の改善等を図るため、採用後の職場定着に向けた支援が推進されています。

また、障害者職業総合センターが行った調査研究においては、障害のある労働者が前職を離職した理由（資料3・資料4）が明らかになっています。

以上を踏まえ、企業が障害のある労働者の障害特性や困り感に応じた雇用管理や職場環境整備をするために、就労支援者として企業に対してどのような支援を行うことができるか、あなたの考えを述べなさい。なお、回答は資料3又は資料4を踏まえることとし、対象とする障害は、障害者全体を対象としても、特定の障害種別を選択して論じてよい。

資料 1 障害者雇用の状況



出典：令和 7 年障害者雇用状況の集計結果をもとに作成

資料 2 就職から 1 年経過後の定着率の比較

| 種別                | 就職から 1 年経過後の定着率 |
|-------------------|-----------------|
| 身体障害者 ※ 1         | 64.1%           |
| 知的障害者 ※ 1         | 74.5%           |
| 精神障害者（発達障害含む） ※ 1 | 55.6%           |
| 一般の新規学卒者（大学卒） ※ 2 | 89.9%           |

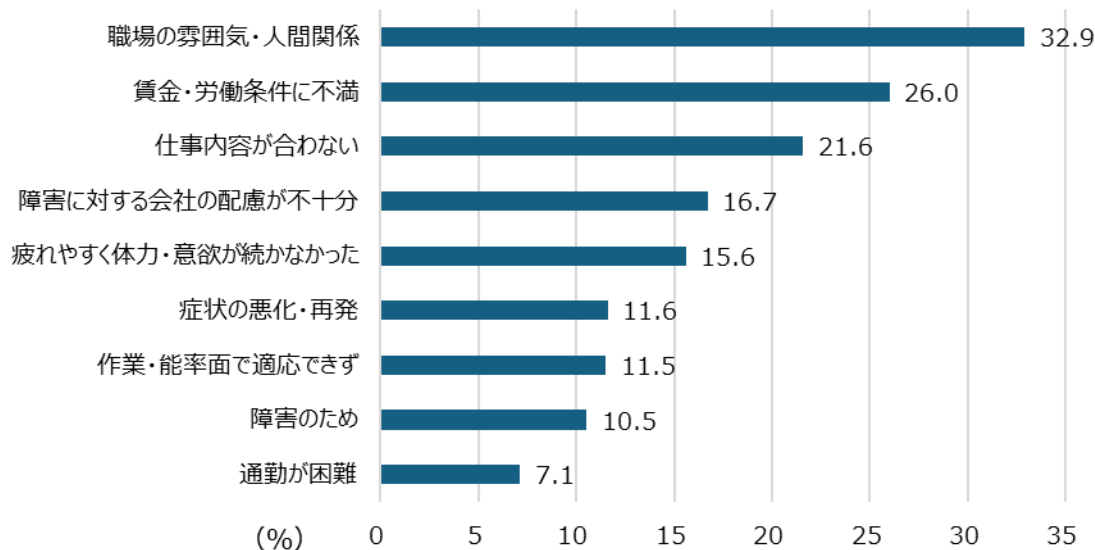
※ 1：身体障害者、知的障害者及び精神障害者については、2023 年 4 月 1 日～2024 年 3 月 31 日までのハローワーク紹介就職者を対象とし、在職月数が 12 か月を超える者の割合を 1 年経過後の定着率としている。なお、小数第 2 位を四捨五入している。

※ 2：一般の新規学卒者（大学卒）については、厚生労働省「新規学卒者の離職状況」に基づき、令和 6 年 3 月卒業者の離職状況（令和 7 年 6 月時点で把握）から算出している。なお、小数第 2 位を四捨五入している。

出典：厚生労働省「第 6 回今後の障害者雇用促進制度の在り方に関する研究会」資料 1（事務局説明資料）及び厚生労働省「新規学卒者の離職状況」をもとに作成

資料 3 障害のある労働者の前職の離職理由における個人的理由の詳細（複数選択、n = 1,170 ※ 3）

（設問項目）

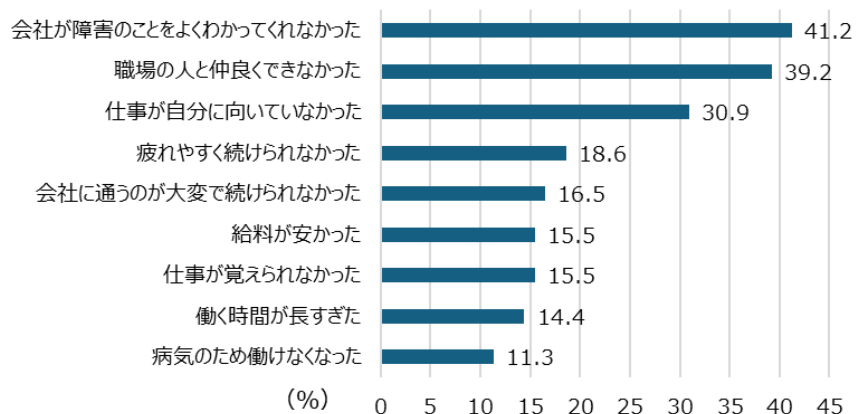


※ 3 : 回答者 1,170 名の内訳は、身体障害者 750 名、精神障害者 170 名、発達障害者 107 名、高次脳機能障害者 11 名、難病者 47 名、その他・不明 85 名。

出典：障害者職業総合センター（2024）「障害者雇用の実態等に関する調査研究」をもとに作成

資料 4 知的障害のある労働者の前職の離職理由における「自分が働き続けられなくなったから」の詳細（複数選択、n = 97）

（設問項目）



出典：障害者職業総合センター（2024）「障害者雇用の実態等に関する調査研究」をもとに作成

### 3. 専門試験問題

次の 6 つの専門分野より記述形式の問題を出題。各専門分野から 3 題出題され、計 18 題から 2 題を受験者が選択し、解答する。なお、2 つの専門分野を横断して回答することも可能。

(例) 心理学、社会福祉学からそれぞれ 1 題ずつ解答する 等

| 専門分野    | 出題領域                                                                                       |
|---------|--------------------------------------------------------------------------------------------|
| 心理学     | 一般心理学、応用心理学、調査研究法                                                                          |
| 教育学     | 教育法規、教育原理、教育史、教育時事                                                                         |
| 社会学     | 社会学概論、社会学理論・社会学史、<br>社会調査法                                                                 |
| 社会福祉学   | 社会福祉の原理と政策<br>ソーシャルワークの基盤と専門職、理論と方法<br>地域福祉と包括的支援体制<br>貧困に対する支援、障害者福祉<br>高齢者福祉、権利擁護を支える法制度 |
| 法学      | 民法（総則、債権）、労働法                                                                              |
| 経済学・経営学 | 労働経済、人的資源管理・組織行動                                                                           |

次頁以降に各専門分野の問題を掲載しています。

令和9年度採用  
障害者職業カウンセラー採用試験

# 専 門 試 験 問 題

## 注 意 事 項

- 1 表紙に受験番号及び氏名を記入してください。
- 2 解答用紙は2枚あります。**2枚の解答用紙のどちらにも受験番号を記入**してください。
- 3 「始め」の合図があるまでは、中を開いてはいけません。
- 4 問題は、次の専門の6領域から18題が出題されています。この18題の中から、解答する**任意の2題**を選択してください。  
[専門領域]  
心理学（3題）、教育学（3題）、社会学（3題）、社会福祉学（3題）、法学（3題）、  
経済・経営学（3題）
- 5 **1枚の解答用紙に1題の解答**をしてください。解答用紙表面の「専門試験の選択番号」欄に、問題の選択番号を記載してから、解答を始めてください。
- 6 各問題の解答の文字数指定はありません。解答は解答用紙に収まる範囲で記述してください。  
なお、文字数の多少による減点はありません。
- 7 キーワードの使用が指定されている問題では、キーワードを複数回使用してもかまいません。
- 8 専門試験の解答時間は**1時間40分**です。「止め」の合図があったらすぐに止め、筆記用具を置いてください。

| 受験番号 | 氏 名 |
|------|-----|
|      |     |

|               |   |
|---------------|---|
| 専門試験の<br>選択番号 | 1 |
|---------------|---|

### 心理学に関する問題①

人間の意思決定方略はヒューリスティックとアルゴリズムに大別される。これらの意思決定方略について、次の（１）と（２）までの小問に答えなさい。

- （１） ヒューリスティックとアルゴリズムとは何か。それぞれの特徴と違いについて、次のキーワードから３語以上を使用して説明しなさい。

〔キーワード〕

認知的負荷、正確性、処理時間、簡便性、確実性

- （２） 日常場面でヒューリスティックがどのような場面で役立つか、具体例を挙げて説明しなさい。

|               |   |
|---------------|---|
| 専門試験の<br>選択番号 | 2 |
|---------------|---|

心理学に関する問題②

うつ病について、次の（１）と（２）までの小問に答えなさい。

- （１） うつ状態における思考障害のうち、思考制止や微小妄想について次のキーワードを参考に説明しなさい。

〔キーワード〕

思考のテンポ、判断力の低下、自己評価の低下、悲観的な解釈

- （２） うつ病の主要な症状とうつ病における３大妄想について、次のキーワードをすべて用いて具体的に説明しなさい。

〔キーワード〕

抑うつ気分、罪業妄想、貧困妄想、心気妄想

|               |   |
|---------------|---|
| 専門試験の<br>選択番号 | 3 |
|---------------|---|

### 心理学に関する問題③

心理検査の質を評価するための重要な概念として、信頼性と妥当性がある。これらについて、次の（１）と（２）までの小問に答えなさい。

- （１） 心理検査における信頼性と妥当性とは何か。それぞれの意味と両者の違いについて説明しなさい。
  
- （２） 心理検査を作成または利用する際に、信頼性や妥当性を確認することがなぜ重要であるのか、具体例を挙げて説明しなさい。

|               |   |
|---------------|---|
| 専門試験の<br>選択番号 | 4 |
|---------------|---|

### 教育学に関する問題①

学校教育の機能と影響について、次の（１）と（２）までの小問に答えなさい。

- （１） 学校教育において、学習指導要領のように明示的な意図があるわけではないものの、学校の物理的環境や人間関係、慣習などを通じて児童生徒が学習する一連の内容を何と呼ぶか。その名称を答え、その特徴について、次のキーワードをすべて用いて説明しなさい。

〔キーワード〕

意図、無意識

- （２） 上記（１）で挙げた概念について、現代の学校における具体的な事例を一つ挙げ、それが児童生徒の人間形成にどのような影響（肯定的、あるいは否定的影響）を与える可能性があるか。次のキーワードをすべて用いて具体的に説明しなさい。

〔キーワード〕

社会規範、ジェンダー、自律性

|               |   |
|---------------|---|
| 専門試験の<br>選択番号 | 5 |
|---------------|---|

## 教育学に関する問題②

特別支援教育における ICT（情報通信技術）の活用について、次の（１）と（２）までの小問に答えなさい。

- （１） GIGA スクール構想により整備された１人１台端末環境を踏まえ、特別支援教育における ICT 活用の意義について、次のキーワードをすべて用いて説明しなさい。

〔キーワード〕

合理的配慮、自立活動、コミュニケーション、学び

- （２） 特別支援教育における ICT 活用の現状を踏まえ、学校現場での課題について、①教員の指導力、②校内での協力体制の観点から述べなさい。

|               |   |
|---------------|---|
| 専門試験の<br>選択番号 | 6 |
|---------------|---|

### 教育学に関する問題③

教育委員会の組織と運営原理について、次の（１）と（２）までの小問に答えなさい。

- （１） 地方教育行政の組織及び運営に関する法律に基づき設置される「教育委員会」の構成について、次のキーワードをすべて用いて具体的に説明しなさい。

〔キーワード〕

合議制、教育長、任命権者（首長）、議会の同意

- （２） 教育行政における「レイマン・コントロール」の理念とは何か。その意義と現代的な課題について、次のキーワードをすべて用いて具体的に説明しなさい。

〔キーワード〕

中立性、地域住民の意向、教育の専門性

|               |   |
|---------------|---|
| 専門試験の<br>選択番号 | 7 |
|---------------|---|

### 社会学に関する問題①

以下の用語について、次の（１）と（２）までの小問に答えなさい。

（１） アノミー（anomie）について、次のキーワードをすべて用いて説明しなさい。

〔キーワード〕

社会規範、自殺、文化的目標、制度的手段、逸脱行動

（２） 社会関係資本（ソーシャル・キャピタル、social capital）について、次のキーワードをすべて用いて説明しなさい。

〔キーワード〕

社会組織、ネットワーク、互酬性、結束型、架橋型

|               |   |
|---------------|---|
| 専門試験の<br>選択番号 | 8 |
|---------------|---|

## 社会学に関する問題②

現代社会では、インターネットや SNS の普及により、多くの人々が自由に意見を発信し、他者と議論を行うことが可能になっている。このような意見の場は、社会学において「公共圏」として捉えられてきた。一方で、SNS 上では、似た意見を持つ人同士が集まりやすく、異なる意見に触れにくくなる「エコーチェンバー（同じ意見が繰り返し強化される状況）」や、社会の分断といった問題も指摘されている。

以上を踏まえて、次の（１）と（２）までの小問に答えなさい。

（１） 公共圏について、次のキーワードをすべて用いて説明しなさい。

〔キーワード〕

参加、意思形成、公共の利益、公開性

（２） 公共圏という概念は、SNS などを通じた分断やエコーチェンバーの問題を考えるうえで、どのように活用できるか具体的に説明しなさい。

|               |   |
|---------------|---|
| 専門試験の<br>選択番号 | 9 |
|---------------|---|

### 社会学に関する問題③

社会調査の方法について、次の（１）と（２）までの小問に答えなさい。

（１） 質的調査の方法について、次のキーワードをすべて用いて説明しなさい。

〔キーワード〕

参与観察、生活世界、半構造化面接、相互行為、意味づけ

（２） 量的調査の方法について、次のキーワードをすべて用いて説明しなさい。

〔キーワード〕

サンプリング、質問紙調査、ワーディング、ダブル・バーレル質問、  
キャリー・オーバー効果

※サンプリング：標本抽出

|               |    |
|---------------|----|
| 専門試験の<br>選択番号 | 10 |
|---------------|----|

### 社会福祉学に関する問題①

意思決定支援について、次の（１）と（２）までの小問に答えなさい。

- （１）平成 29 年に策定された「障害福祉サービス等の提供に係る意思決定支援ガイドライン」において示されている意思決定支援の考え方について、意思決定支援がどのような場面を対象としているかに着目し、次のキーワードをすべて用いて説明しなさい。

〔キーワード〕

日常生活、社会生活、意思決定

- （２）意思決定支援において、本人の意思を推定することが困難な場合、本人にとっての最善の利益の判断をする際にどのような点に留意する必要があるのか、次のキーワードから 2 つ以上を用いて具体的に説明しなさい。

〔キーワード〕

本人の意思及び選好の推定、生活史、関係者の協議、メリット・デメリット、自由の制限の最小化

|               |    |
|---------------|----|
| 専門試験の<br>選択番号 | 11 |
|---------------|----|

社会福祉学に関する問題②

アウトリーチについて、次の（１）と（２）までの小問に答えなさい。

- （１） ソーシャルワークにおけるアウトリーチについて、次のキーワードをすべて用いて説明しなさい。

〔キーワード〕

生活上の課題、ニーズ、COS、ACT

※ COS：慈善組織協会

※ ACT：包括型地域生活支援プログラム

- （２） いわゆる「8050 問題」の支援におけるアウトリーチの意義について具体的に説明しなさい。

|               |    |
|---------------|----|
| 専門試験の<br>選択番号 | 12 |
|---------------|----|

社会福祉学に関する問題③

WHO（世界保健機関）が2001年に発表した「国際生活機能分類（ICF）」の概念について、次の（１）と（２）までの小問に答えなさい。

- （１） ICF における障害の捉え方について、次のキーワードをすべて用いて説明しなさい。

〔キーワード〕

マイナス面、生活機能、プラス面、健康状態、相互作用

- （２） ICF の視点について、支援者が対象者の就労アセスメントを行う際に、どのように活用できるか具体的に説明しなさい。

|               |    |
|---------------|----|
| 専門試験の<br>選択番号 | 13 |
|---------------|----|

法学に関する問題①

民法上の制限行為能力制度について、次の（１）と（２）までの小問に答えなさい。

（１） 制限行為能力制度の制度趣旨について、説明しなさい。

（２） 高齢者や障害者を保護（支援）するために制限行為能力制度を活用することには、具体的にどのような利点があるか。後見人・保佐人・補助人に与えられる権利に着目しつつ、次のキーワードをすべて用いて説明しなさい。

〔キーワード〕

同意、取消、代理

|               |    |
|---------------|----|
| 専門試験の<br>選択番号 | 14 |
|---------------|----|

法学に関する問題②

売買契約について、次の（１）と（２）までの小問に答えなさい。

- （１） 売買契約における売主の契約不適合責任について、次のキーワードをすべて用いて説明しなさい。

〔キーワード〕

債務不履行責任、追完、減額、解除、損害賠償

- （２） Aが所有する甲をBに売却したが、Bが甲を弁済期に受領をしなかったところBに引き渡す前に不可抗力の災害が起こり、甲が滅失してしまった。この場合にAは、甲を引き渡せないにもかかわらず、売買代金の支払いをBに対して求めることができるか。具体的に説明しなさい。

|               |    |
|---------------|----|
| 専門試験の<br>選択番号 | 15 |
|---------------|----|

法学に関する問題③

労働基準法における「賃金」について、次の（１）と（２）までの小問に答えなさい。

（１） 労働基準法が定義する「賃金」について、説明しなさい。

（２） 「賃金の支払い」に関する規制の在り方について、次のキーワードをすべて用いて、  
規制の趣旨も含め説明しなさい。

〔キーワード〕

現物、中間搾取、未成年者、労働者の経済生活の安定

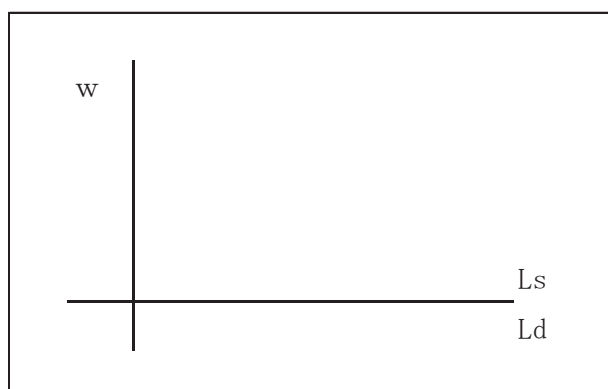
経済・経営学に関する問題①

労働供給曲線（ $L_s$ ）と労働需要曲線（ $L_d$ ）に関して、次の（１）と（２）までの小問に答えなさい。

- （１） 一般的には労働供給曲線が右上がり、労働需要曲線が右下がりになる理由を説明しなさい。そのうえで、均衡賃金（ $w$ ）が上昇して、均衡労働量（ $L$ ）が減少した場合、労働需要曲線と労働供給曲線のいずれが左右どちらにシフトしたのか、また、なぜそのようなシフトが生じたのかについて説明しなさい。
- （２） 労働需要の賃金弾力性について説明したうえで、労働需要の賃金弾力性が高いと労働需要曲線もしくは労働供給曲線の傾きがどうなるのかを説明し、労働需要の賃金弾力性が高くなる要因を３つ挙げなさい。さらに労働需要の賃金弾力性が高いときに、企業に課税すると労働者や企業の課税負担がどうなるのかを図を用いて説明したうえで、理由を直観的に説明しなさい。

図は、解答用紙の表面の作図欄に以下の図を書いたうえで、追記すること。

説明は、解答用紙の裏面に記載すること。



|               |    |
|---------------|----|
| 専門試験の<br>選択番号 | 17 |
|---------------|----|

経済・経営学に関する問題②

従業員に対する評価制度について、次の（１）と（２）までの小問に答えなさい。

（１） 従業員に対する評価制度について、次のキーワードをすべて用いて説明しなさい。

〔キーワード〕

人事考課、考課者訓練、ハロー効果、360 度評価

（２） 評価と処遇、教育訓練の関係について、説明しなさい。

|               |    |
|---------------|----|
| 専門試験の<br>選択番号 | 18 |
|---------------|----|

経済・経営学に関する問題③

役職定年制度について、次の（１）と（２）までの小問に答えなさい。

- （１） 役職定年制度と役職任期制度について、次のキーワードをすべて用いて説明しなさい。

〔キーワード〕

定年延長、管理職、モラル、旧定年年齢

- （２） 役職定年制度が人事管理にもたらす影響と対策について、説明しなさい。

#### 4. 少人数面接試験問題

架空の事例を提示。

指定された 1 つの事例に対して、自身の考えを回答する。

(出題例)

①ある利用者は、不注意の傾向があり、また整理整頓が苦手です。事務補助の作業を行う際に、作業に必要な書類や伝票などが他の書類に混ざってしまうことや、違う伝票を入力してしまうことが頻繁にあります。この方が、これから就職し働き続けていくために、あなたならどのような支援をしようと考えますか。  
なお、障害種別は発達障害です。

---

②ある利用者は、指示が理解できなくても「分かりました」と返事をしてしまうことがあります。本人が「分かりました」と回答したため作業をさせたところ、指示とは異なる行動をすることが頻繁に生じています。この方が、これから就職し働き続けていくために、あなたならどのような支援をしようと考えますか。  
なお、障害種別は発達障害です。

---

③ある利用者は、働く時に、精神疾患がまた悪くなるのではないかと不安から、企業で働くかどうか、気持ちが揺れ動くことが多い状況です。気持ちが安定している時は「企業で働いてみたいと思います」と言いますが、うまく作業に対応できず気持ちが落ち込むと「病気が再発するのではないかと不安なので、企業で働くのはやめようと思う」と言うことを、頻回に繰り返しています。この方が、これから就職し働き続けていくために、あなたならどのような支援をしようと考えますか。  
なお、障害種別は精神障害です。